

Let's talk:

# 嶋津幸樹の世界と繋がる IELTSブログ



英検 公益財団法人  
日本英語検定協会  
Eiken Foundation of Japan

BRITISH COUNCIL IELTS  
Official Test Centre

## 第4回 「IELTS リスニング満点は英語学習のスタートライン!概要と勉強法」

嶋津幸樹

全8回でお届けする連載「世界と繋がる IELTS」、第4回の今回は IELTS リスニングについて満点取得までのストーリーと勉強法について紹介していきます。4技能の中でもリスニングは日常生活でもアカデミックな場面においても最も重要なスキルであり、言語習得の根本的なスキルであると言えます。IELTS リスニング 9.0 取得に必要なステップとおすすめの英語リスニングコンテンツを紹介していきます。

まずリスニングは受動的なスキルであると思われていますが、実は能動的で意図的なプロセスであると言われています。聞き手はただ単に音声を認識するだけでなく、音声に含まれる意味を脳内で複雑な処理をし、理解に結びつけています。一方「聴力」という意味のヒアリングは音声の認識に重きが置かれるため、聴力検査 (hearing test) や難聴 (hearing loss) などの文脈で使われます。ちなみに医学用語では「聴力検査」を audiometry と呼び、aud には「聞く」という語源があり、audience (聴衆) audition (オーディション) auditorium (講堂) などが同語源なので覚えておきましょう。

リスニングは聞き流して身に付くスキルではなく、能動的で意図的なプロセスであることを認識した上で本題に戻り、IELTS のリスニングについて解説していきます。IELTS のリスニングテストは4つのパートで構成され、各パートにつき10問ずつ、計40問が出題されます。日常的・社会的な友人間の会話や電話による問い合わせ、ラジオ放送から学術的・教育的な内容や大学の講義・講義まで幅広い内容が出題されます。

それでは IELTS リスニング 9.0 満点までの道のりと勉強法をお届けしていきます。まず、取り組むと良いこととしては「英語音声学」の基礎・基本を徹底的に学ぶことです。私が大学で担当する英語音声学の初回の授業では日本語と英語の音声を徹底的に比較・分析することから始めます。まずは英語の音節 (syllable) と音素 (phoneme) が日本語とどのように異なるのか、どのように単語同士の繋がり文が構成されるのかという音韻意識 (Phonological Awareness) を高めることが重要です。

さらに英語音声学の権威 Adrian Underhill に考案された IPA (International Phonetic Alphabet) を用いた Phonetic Chart を活用すると聞こえない音の正体が明らかになります。10年以上前に彼の講義を受けてから自分が聞き取り辛かった音が聞き取れるようになったことを思い出します。IPA については YouTube の講義動画をフル活用することで楽しく学べるはず。これらの英語音声学の基礎・基本を抑えることで英語の

発音やアクセント、イントネーションに意識が向くようになり、理論として解釈できることも英語学習の楽しみの一つになるでしょう。

次に実践編へ移ります。リスニング向上には大量のインプットが前提条件ですが、英語で興味のない分野を大量にインプットすることは非常に難しく、継続には繋がりません。そこで長期的な視点から効果的であるのが「楽しみのためのリスニング (Listening for Pleasure)」、つまり自分が知りたい・学びたいコンテンツを選択することが重要であり、内発的動機を高めると言われています。まずは自分の興味のある分野の Podcast や YouTube を探し、日常生活に取り入れ習慣化していくことから始めます。

初学者におすすめしたいのが第一言語である日本語の解説がある日英バイリンガルのコンテンツです。私が毎週配信している日英バイリンガル放送の「リンガライブ」や無料ポッドキャスト「バイリンガルニュース」は日本語を適材適所で用いているので英語学習者の認知負担を軽減できます。闇雲に難しすぎる英語だけのコンテンツを大量にインプットするより、自分のレベルに合ったコンテンツを厳選することが重要です。

中級者におすすめしたいのが英語学習者向けに作られた BBC 6 min English です。IELTS リスニング 9.0 を取得したときには既存のコンテンツを全てコンプリートしました。BBC 6 min English は 2 人の話者による対話型の 6 分間の番組で、1 つの探究要素があるテーマについて重要語彙や表現にフォーカスしながら展開されていきます。音源もスクリプトも無料でダウンロードでき、プリントアウトしてアウトプットに繋がる表現をノートにまとめるなどするとスピーキング力向上にも繋がるはずです。

IELTS7.0 以上の上級者には CNN や BBC などの英語母語話者向けの世の中のあらゆるコンテンツを英語で楽しんで頂きたいと思いますが、実際 IELTS9.0 を取得しても英語コンテンツを全て聞き取れるわけではありません。今でも英語の映画を見ても 7 割程度しか理解することはできません。そこで IELTS 学習者におすすめしたいのが中高生の英語ネイティブスピーカー向けのコンテンツです。具体的には学生向けに作られた 10 分程度の CNN 10 (旧 CNN Student News) というニュース番組で、翌日にはスクリプトも公開されます。但し長期休み期間は放送がストップするのでそこだけは注意が必要です。

今回のポイントをまとめると「リスニングは能動的で意図的なプロセス」「まずは英語音声学の基礎・基本を徹底」「継続できる自分に合ったコンテンツを厳選」です。自分自身の強みとなる第一言語や背景知識を上手く活用して、自然に英語でインプットを繰り返せるような環境作りを進めていきましょう。次回は「IELTS リーディングで知識・教養が身に付く! 概要と勉強法」と題しておすすめのリーディング教材や大量のインプットに繋がる習慣化の方法について紹介します。

[IELTS 編集部トップに戻る](#)